

令和4年4月28日

東部農林水産振興センター安来農業部

標 題	有機JAS米生産拡大を目指して（農）ファーム宇賀荘穀物乾燥調製施設が完成
-----	--------------------------------------

（ダイジェスト）

令和4年4月15日、農事組合法人ファーム宇賀荘の穀物乾燥調製施設が完成し、竣工式が開催されました。認証取得を予定している有機JAS米専用の乾燥調製施設として整備され、将来的には25haを目指して有機米の生産拡大を図る考えです。

農事組合法人ファーム宇賀荘は平成15年から特色のある米づくりとして農薬・化学合成肥料不使用で栽培する「どじょう米」を生産しています。

同法人では、以前から有機JAS認証取得を目指していましたが、乾燥調製の委託先で他の米と混ざるため、認証取得が困難でした。

このたび、県事業を活用して、法人の念願であった有機JAS認証に適合する専用の穀物乾燥調製施設を新設され、令和4年4月15日に竣工式が開催されました。

竣工式で、岡田一夫代表理事組合長からは、「有機JAS米の生産出荷の拠点として活用し、地域の有機農業の普及に役立てたい」との挨拶がありました。

現状は10haで有機JAS認証に向けて取り組んでおり、今年産の出荷期までに認証取得を予定しています。また、将来的には25haを目標に有機米の生産拡大を目指しています。

安来農業部では、今後も関係機関と連携し、有機米の生産拡大に向けて支援していきます。



竣工式会場の様子



新設された乾燥調製施設内部の様子